

歯科の二大疾患

② 歯周病

～津山歯科医師会～



前回のむし歯に続いて今回は歯周病についてお話してみたいと思います。

歯周病とはどんな病気でしょうか。

歯周となっていることからもお分かりのように歯の周辺部の病気です。

歯に細菌の塊である歯垢がつくと歯の周囲の歯肉に炎症が起きます。また、歯と歯肉の間に歯周ポケットと呼ばれる溝ができるとそのポケットの中で歯周病菌が増殖していきます。その細菌が毒素を出して歯を支えている歯槽骨をどんどん溶かしていきます。

初期の段階では歯肉から出血が見られる程度ですが進行すると歯がグラグラしてきたり、歯肉から膿が出るなどの非常に不快な症状が出てきます。末期になると歯を抜いてしまわなければなりません。

最近では歯周病と全身の病気の関連性が明らかになってきています。特に糖尿病との因果関係は詳しく研究され相互の治療に活用されています。その他心臓病、動脈硬化、高齢者の誤嚥性肺炎、早期低体重児出産などにも歯周病は関わっているとされています。

歯周病はなかなか怖い病気だと分かっていただけのことと思います。

歯周病の予防、改善、治療はどのようにしたらいいのでしょうか。

歯科医院では細菌の巣となっている歯周ポケットの中の歯石を除去し清掃します。深い歯周ポケットは清掃しやすいように浅くする除去手術も行われます。そして、正しい歯周病に適した歯の磨き方を指導します。その歯みがきの方法を皆さんが毎日実践していただくことが大変重要であり、歯周病の予防、改善、治療のすべてであると言っても過言ではありません。

口の清掃は簡単ではありません。残っている歯の本数、歯と歯の隙間の広さ、歯並びなど個々人の口の中の状態は千差万別です。歯と歯肉の境界

に正しく歯ブラシの毛先をあてるにはどうしたらいいのか、歯間ブラシのサイズはどれがいいのかなど歯みがきの方法も個人に合った最も効果が得られるものでなくてはなりません。

どうぞ歯科医院を受診していただき正しい自分に合った歯みがきの方法を習得していただき、それを毎日行ってください。歯周病は初期の段階では自覚症状がないままに進行していきます。取り返しのつかない状態になる前に正しい歯みがきで歯周病を撃退してください。

歯みがき、歯みがき、歯みがきです。

お問い合わせ先：津山市健康増進課 TEL 0868-32-2069

